

## ICT街づくり推進会議（第13回）

### 1 日時

平成29年2月10日（金） 16:00～17:00

### 2 場所

総務省8階 第1特別会議室

### 3 出席者

#### （1）構成員

岡座長、石原構成員、岩沙構成員、清原構成員、徳田構成員、村上構成員

#### （2）オブザーバ

内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局、農林水産省大臣官房政策課技術政策室、経済産業省商務情報政策局情報経済課、国土交通省総合政策局公共交通政策部交通計画課、同省都市局都市政策課、厚生労働省医政局研究開発振興課医療技術情報推進室

#### （4）総務省

あかま総務副大臣、谷脇情報通信国際戦略局長、吉田情報通信国際戦略局参事官、小笠原情報通信政策課長、加藤地域通信振興課長、渡邊住民制度課企画官、澤田行政情報システム企画課長

### 4 議事

- （1）ICT街づくりの普及展開に向けた取組等について
- （2）農林水産分野におけるICT利活用の促進について
- （3）データ利活用型スマートシティの取組等について
- （4）マイナンバーカード・公的個人認証サービス等の利活用に関する検討状況について
- （5）意見交換

### 5 議事概要

会議の冒頭、あかま総務副大臣より挨拶があった。主な内容は以下のとおり。

【あかま総務副大臣】

- 総務省では、岡座長のリーダーシップのもと、これまで全国27カ所でICT街づくりの実証プロジェクトを実施し、成功モデルを構築した。現在はその普及展開に努めているところであり、特に、センサーを活用した鳥獣被害対策や森林クラウド、マイナンバーカードの利活用について普及展開が進んでいる。
- こうした取組に加えて、来年度からは都市が抱える様々な課題を解決するために、データを利活用したスマートシティを推進していく。
- 本日は、データ利活用型スマートシティの基本構想などをまとめたスマートシティ検討WGの第一次取りまとめの報告があるとのこと。今後、この取りまとめをさらに具体化の上、事業を推進することで、地域が抱える課題を解決し、地方創生に積極的に貢献してまいりたい。岡座長をはじめ、構成員の皆様方におかれては、ご知見、ご経験を生かした活発なご議論をお願いしたい。

(1) ICT街づくりの普及展開に向けた取組等について

事務局より資料13-1及び資料13-2について説明が行われた。

(2) 農林水産分野におけるICT利活用の促進について

農林水産省大臣官房政策課技術政策室より資料13-3について説明が行われた。

(3) データ利活用型スマートシティの取組等について

徳田構成員より資料13-4、事務局より資料13-5について説明が行われた。

(4) マイナンバーカード・公的個人認証サービス等の利活用に関する検討状況について

事務局より資料13-6について説明が行われた。

(5) 意見交換

出席者の主な発言は以下のとおり。

#### 【村上構成員】

- 地域懇談会@対馬市に参加したが、塩尻市から始まったこのプロジェクトが単に獣害対策だけでなく「獣財」というジビエ産業につなげていき、持続可能性を高めようとしていることに非常に感銘を受けた。
- 高島福岡市長との意見交換においても、鳥獣被害対策の話が出たところ、福岡市でも同様に課題になっているとのこと。政令指定都市ですら鳥獣被害は問題になっており、日本全国にあまねく存在する問題なのではないかと強く感じており、塩尻市や対馬市のプロジェクトがうまく進めば全国的に広がるポテンシャルがあると思う。
- スマートシティは価値共創（Value Co-Create）で利用者の顔が見える形で実行してもらいたい。また、今までの実証事業や横展開のノウハウを活用してもらいたい。

#### 【徳田構成員】

- 民間サービスにおけるマイナンバーカードの利用拡大も着実に進んでいると感じているが、やはり付加価値がついてこそ利用拡大が加速すると確信しており、利用事例が次々に増えていくことを期待。
- 鳥獣被害対策について、塩尻市では自らのネットワークに接続して檻などを設置していたが、横展開した事例の中には3Gなどの既存ネットワークを活用することでコストを抑制した例もあった。対馬市では、捕獲した肉をそのまま地元のレストランに納入したり都市部へビジネス展開したり、と6次産業化まで繋げようとしており、これも良いモデルとして横展開の事例になっていると感じている。

#### 【清原構成員】

- 三鷹市でも都市型農業としてブドウやキウイフルーツなど果樹が多く栽培されているが、ハクビシンなどによる被害も多く、都内の鳥獣被害額の順位は7位になっているため、農村部だけでなく、都市部でもセンサーを活用した鳥獣被害対策の横展開の可能性があるのでないかと感じている。
- 国立大学、特に地方の国立大学の経営が厳しい中、「データ利活用型スマートシティ」の取り組みにおいては、専門性・中立性の観点から地域の大学と連携することが重要。また、「民学産公官の協働」でスマートシティを推進していただきたい。
- マイナンバーカードの交付について、三鷹市でも一生懸命で普及に努力しているところで、人口比で約10%の方々に交付することができたが、カードの普及はまだまだこれからということで、国を挙げて更なるPRをお願いしたい。

○4月より「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」をオープンする予定。これを活用して、ICT街づくり実証事業のなかで取り組んだ災害時の多メディア情報提供の仕組みを更に発展させていく。このほか、柏市で取り組まれた健康体力相談システムも三鷹市に横展開して取り組む予定。

#### 【石原構成員】

○ICTスマートシティ整備推進事業のキーは、データ連携基盤の標準化・共通化を行うこと。これを都市OSと呼ぶならば、スマートシティにおいてもパソコン・スマホ同様、OSを制覇するものがスマートシティを制覇する。自治体や企業の利害を超えて、スピード感を持って都市OSの標準化・共通化を進め、日本のみならず海外展開も視野に入れていってもらいたい。また、マイナンバーカードの利活用も、都市OSと併せてICT化のインフラとして欠かせない。更なる早期普及に向けた取組をお願いしたい。

○ファイナンス手段として、スマートシティ開発には民間のノウハウと投資が不可欠。特に来年度からは、人口20万以上の自治体はPPPあるいはPFI手法導入を優先的に検討することとなる。官と民がパートナーシップを組んで事業を行うことで、官の公的負担の抑制のみならず、民としてもビジネス機会の拡大につながり、民の知恵がこの取組のなかで活かされることになると思う。

○自治体が民間の考え方やスピード感についていけないこと、あるいは様々な既得権者の反発も予想されるが、住民ファーストの目線かつ関係省庁横断で支援することが重要。

#### 【岩沙構成員】

○これまでの実証プロジェクトの積み重ねを通じて、塩尻モデルや真庭モデルというように、先行的なプロジェクトの名を冠した事業モデルの横展開が進んでいることについて、今後更に全国各地へと広がっていくことに大いに期待。特に、各モデルについての推進母体が確立してきたことは頼もしく、推進母体を通じた横展開の際には、展開先の個々の地域特性などに合わせるよう事業をファインチューニングするといった配慮をするとより一層普及に弾みがつく。総務省にはそうした観点で推進母体に更なる指導と支援を期待したい。

○PPP/PFI、エリアマネージメント制度、BID制度などスマートシティは街づくりの要素が強い。公共の役割が従来のハード整備からサービス提供へ変化しつつあり、民間がもつノウハウや資金をどう取り込んでいくかという流れのなかではこうい

った官民連携のコンセプトを導入することは非常に理にかなっている。

○一つ加えて頂きたいのが企業だけでなく、市民の力を活かす、市民参画を促す視点を取り入れてもらいたい。例えば、愛知県半田市では、道路の舗装がはがれていることを市民が見つけ、その場でスマホのアプリで市役所に通報するといった仕組みを導入しており、市役所としては巡回や保守の手間が省けて対応が迅速になるといった成果が上がっている。市役所の対応内容もウェブで確認できるため、市民側も参加意識が芽生えると好評のようで他自治体でも導入の動きがある。こうした市民参加を促す流れを「ガバメント2.0」と呼ぶが、こうした視点もぜひ議論に取り入れて深化させて頂きたい。

#### 【岡座長】

○スマートシティについては最初の2年が重要。事業に着手し実績をつくることが大事であり、早く成功モデルを構築し他の自治体に横展開を図ることが重要である。昨年札幌市長とも意見交換を行ったが、ビッグデータを活用したスマートシティに取り組みたいとのことで、福岡市長も「FUKUOKA Smart EAST」という構想で非常に力を入れて取り組んでいる。

○マイナンバーカードについて、個人の持論としてはやはり医療分野での利活用が重要。マイナンバーカード1枚だけで診察券や保険証の代わりになるようになれば普及展開が進むと期待。医療分野におけるメリットを実感できるようなものをいち早く事例をつくり上げて頂きたい。

○今回対馬市に行って感じたのはジビエに関する課題。特に価格面で課題があり、例えば、イノシシの美味しい部位と豚肉の美味しい部位と比べても値段があまり変わらず、これで関東圏にマーケットを展開してもイノシシ肉を売ることは難しい。観光目的で地元の珍しい料理という形でジビエビジネスを展開する分には現状のままでも問題ないが、更に規模を大きくして有効活用しようとするとうこういった課題が出てくる。こういった課題も含めて前向きに解決する方向で取り組んで頂きたい。

以 上